本体表示部

応急運転スイッチ

つまようじなどの
先の細いもので
応急運転スイッチを押す。

- 押すと運転を開始し、もう一度押すと停止します。
- 運転モードは「自動」、風量は「自動」に設定されます。▶12、13ページ
- リモコンがみつからないときなどにご使用ください。

運転ランプ（緑色）※

タイマーランプ（橙色）※ ▶15ページ

換気ランプ（緑色）※
- 調湿換気ユニットと連動している際、停止中でも点灯することがあります。
（換気循環のために、風を送っているためです。）

※パワーセレクト「入」のときは、表示ランプが暗くなります。

室内温度センサー部
- 室内の温度を検知します。

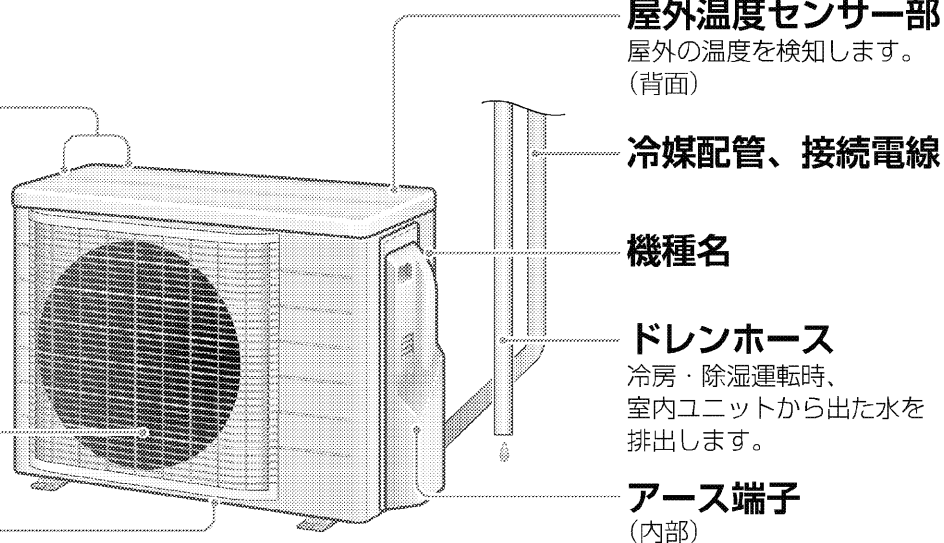
室内湿度センサー部
- 室内の湿度を検知します。

受信部
- リモコンからの信号を受ける部分です。
- 信号を受けると、受信音と同時に運転ランプが点滅し、受信を確認できます。
パワーセレクト「入」のときは、運転ランプとタイマーランプが点滅します。▶17ページ
 ・運転開始…ピッピッ♫
 ・設定変更…ピッ♪
 ・運転停止…ピー♩

室外ユニット

吸込口
（側面・背面）

吹出口

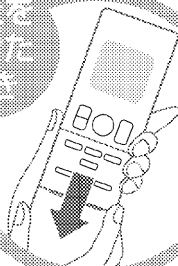
ドレン排水口
暖房運転時、室外ユニットから出た水を排出します。（底面後方）

屋外温度センサー部
屋外の温度を検知します。（背面）

冷媒配管、接続電線

機種名

ドレンホース
冷房・除湿運転時、室内ユニットから出た水を排出します。

アース端子
（内部）

各部の名前と働き

表示部

運転状態を表示します。
(図は説明のため全部表示しています。)
表示部の保護シートは使用時にはがしてください。

12ページ

自動運転ボタン

室内・屋外温度に応じて、自動で最適な運転モードを選んで運転します。

13ページ

風量ボタン

風量を調節します。

12ページ

運転切換ボタン

運転のモードを選びます。
(自動・除湿・冷房・暖房・送風)

15ページ

切タイマーボタン

運転を停止するまでの時間を設定します。

17ページ

パワーセレクト入ボタン

運転時の電流を制限して、電力消費を抑えます。

17ページ

パワーセレクト切ボタン

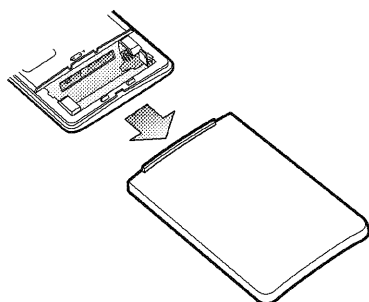
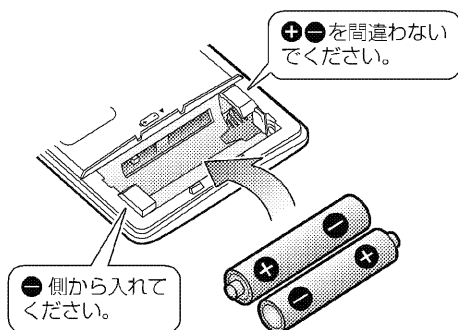
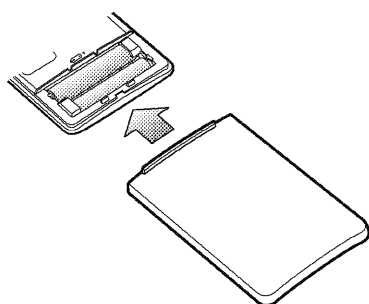
パワーセレクトを取り消します。

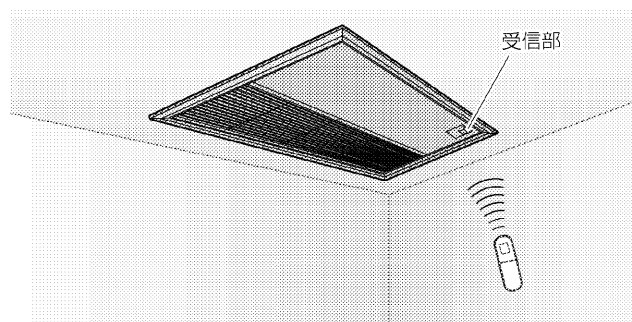
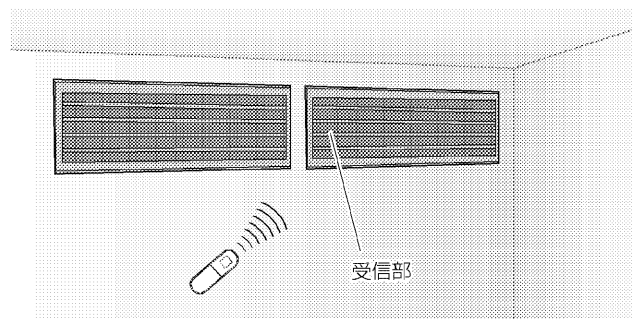
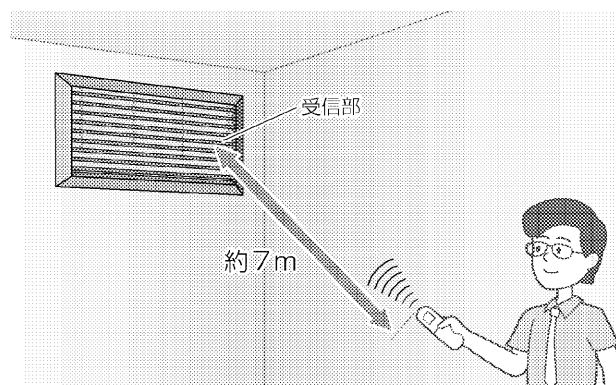
自動運転
風量
運転停止
温度
運転切換
パワフル
風向
(オプション)
湿度
切タイマー
取消
入タイマー
パワーセレクト
入
切
タイマー設定
送信部
信号を送ります。
12ページ
運転／停止ボタン
押すと運転。もう一度押すと停止します。
13ページ
温度調節ボタン
温度を調節します。
16ページ
パワフルボタン
冷房・暖房の風量・能力をパワーアップして運転します。
14ページ
風向ボタン
上下風向を調節します。
13ページ
湿度ボタン
湿度を調節します。
15ページ
入タイマーボタン
運転を開始するまでの時間を設定します。
15ページ
タイマー取消ボタン
タイマー予約を取り消します。

運転前の準備

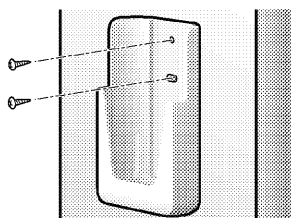
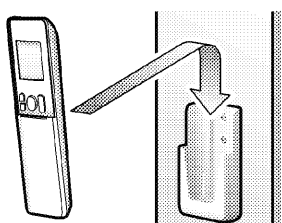
リモコン

電池を入れる

**ふたを矢印の方向へ
スライドさせて、取り外す。**

**2 単４形アルカリ乾電池を
2本入れる。**

**3 ふたを矢印の方向へ
スライドさせて、閉める。**

使いかた

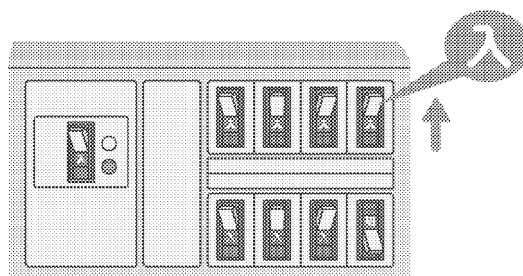
- リモコンの送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。カーテンなど信号をさえぎるものがあると作動しないことがあります。
- 受信できる距離は約７ｍです。
  （角度、方向によって受信距離は異なります。）

壁などに取り付ける場合

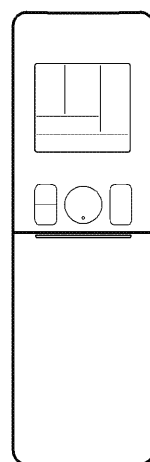
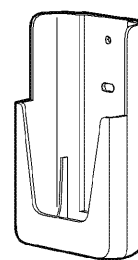
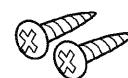
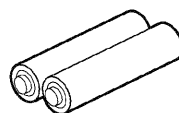
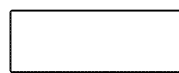
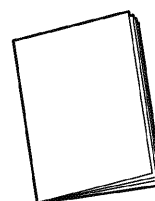
1 信号が受信できる場所を選ぶ。

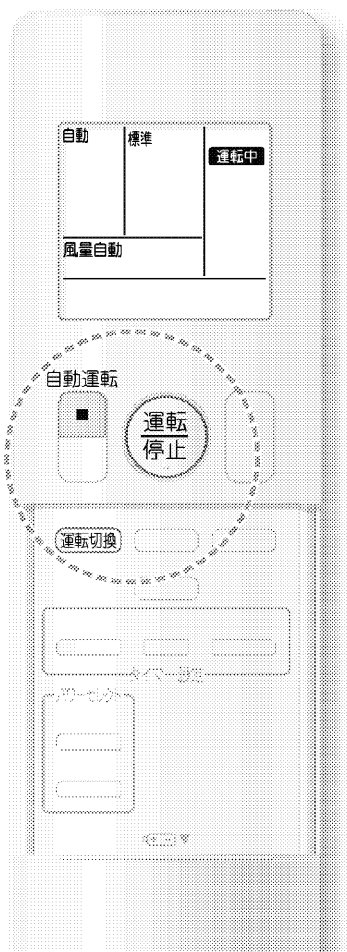
2 リモコンホルダーを付属のネジで壁や柱などに取り付ける。

3 リモコンをリモコンホルダーに入れる。

電池について

- 交換の目安は約１年ですが、リモコンの表示部が薄くなり受信されにくくなりましたら、２本同時に新しい単４形アルカリ乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は、最初にご使用いただくために用意しているもので、１年に満たないうちに消耗することがあります。

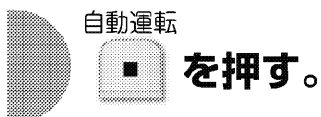
室内ユニット

ブレーカーを入れる

- ブレーカーを入れると、各部の動作チェックを行います。

付属品

リモコン

リモコンホルダー

リモコンホルダー取付ネジ（黒色・２本）

単４形アルカリ乾電池（２本）

保証書

取扱説明書

運転モードを設定する

(室内ユニット本体表示部)

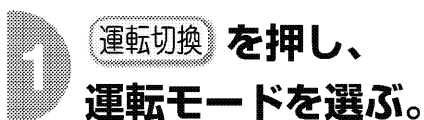
自動運転

ワンタッチ操作で室内・屋外温度に応じた自動運転を行います。

自動運転
 を押す。

- 自動運転を開始します。

運転モード選択

自分に合ったお好みの運転を選べます。

1. 運転切換 **を押し、運転モードを選ぶ。**

- 押すごとに下記のように運転モードが切り換わります。

2. 運転/停止 **を押す。**

停止したいとき

をもう一度押す。

- 運転ランプが消灯します。

自動運転について

- 自動運転は、運転開始時の室内・屋外温度に応じて、自動で運転モード(除湿・冷房・暖房のいずれか)、設定温度を選びます。
- 設定温度と運転モードは運転中定期的に見直します。お好みに合わないときは、温度ボタンで微調整していただくか、運転モードを変えてください。

暖房運転について

- 屋外温度が下がるにつれ暖房能力が低下します。暖まり不足の場合には他の暖房器具の併用をおすすめします。
- 暖房運転中、室外ユニットに霜が付くと能力が低下するため、霜を取り除く運転(除霜運転)をします。
- 除霜運転中、室内ユニットからは温風が出ません。

除湿運転について

- 除湿運転時に、補助的に空気を暖めることで室温の低下をおさえながら湿気を取り除く運転をします。
- 冷房運転から除湿運転に変更した場合一時的に湿度が上がることがあります。

お知らせ

- 除湿運転中に、吹出口より冷風や暖気を感じることがあります。その場合には、フラップで風向調節してください。